

こちら消防

119

消防本部(☎83-0119)

### 市内事業所が参加する「消火競技大会」

消防本部と危険物安全協会は、市内の事業所を対象に、毎年、消火競技大会を実施し、各事業所の自衛消防隊員の資質向上を図っています。今年度は10月23日に「女性消火競技大会」を、11月中旬には「事業所対抗消火競技大会」を開催する予定です。

地域の事業所の安心・安全は、こうした自衛消防隊員のみなさんの地道な活動によって守られています。例年市内の多数の事業所が参加する消火競技大会ですが、今回も、たくさんの自衛消防隊が日頃の訓練の成果を披露してくれることでしょう。

●女性消火競技大会



●事業所対抗消火競技大会



### 学校行事をとおして

夏休みが終わり1か月が経ちました。この間、市内の小・中学校では、体育祭や運動会が行われてきました。子どもたちは、夏休み中から休み明けにかけ、一生懸命練習に励んできたことでしょう。連日の猛暑で不調を訴える児童・生徒もいたかと思いますが、どの学校も無事に終わることができたようです。

心身の成長著しい子どもたちは、一つの行事の中で多くのことを学んでいます。行事を迎えるまでの準備や練習はもちろん、保護者や地域の方々を前にしての当日の頑張り、終わってからの気付きや反省等、そうした一つ一つの体験の積み重ねが貴重な経験となって、「学ぶ力」や「これからの社会を生き抜く力」を身につけていくことにつながっていくのです。

2学期は、小・中学校ともに、10月以降も行事が盛りだくさんです。体育行事だけでなく、これからは、文化祭や音楽祭、学習発表会など「芸術・文化の秋」にふさわしい行事も行われます。

児童・生徒は、行事の中で、ときには失敗することもあります。生き生きと活動し、人とかわりながら「主体性」や「協調性」を身につけ、行事を終えるたびにたくましく育っていきます。私たち大人は、そんな子どもたちの成長を、学校、地域そして家庭で、あたたかく見守っていききたいものです。

(学校教育課)



### ⑪「自治基本条例をつくる会」活動報告

今年4月に15名でスタートした「自治基本条例をつくる会」も、現在、会員数は23名となり、これまでに11回の会議を重ねてきました。会議では、自治基本条例を構成する基本原則や必要性の確認、先進地において施行されてきた各条例の比較や条例策定までのプロセスについて学習・検討を行っていますが、最近では、こうした基礎的な研究に加え、本市の抱える問題点や課題点を具体的に抽出しながら、それに対応する解決策を考え、求められている自治基本条例とは何か、山陽小野田市にとって必要な最高規範とは何かについても議論を始めています。



「つくる会」の活動のようす

「つくる会」では、これから様々なプロセスを経て、条例の素案づくりを行うわけですが、その過程についてはニュースレターを発行し、随時、市民のみなさんにお知らせしたいと考えています。また、自治基本条例の策定には、より多くの市民のみなさんのご意見や参加が不可欠です。今後はみなさんからの意見募集なども予定していますので、その際にはどうぞお気軽にご意見をお寄せください。

行政改革課 (☎ 82-1135)